



北郷幹夫 議員

少子高齢化

北郷 少子高齢化・人口減少問題がある中で、町独自の視点で持続可能な町づくりを行っていかねばなりません。①現在、5年後及び10年後の高齢化率は、②現在、5年後及び10年後の人口の推移は、③復興10年以降の町勢振興計画はどのようになっていますか。④現在不交付団体であるが、この件を含めて、今後の財政の見通しは。

町の将来の見通しは

町長／持続可能な町政運営を図る

町長

①令和元年9月現在の高齢化率は30・7%です。5年後の令和6年度は33・4%となっています。様々な社会的要因により、30%前後で推移していくことを想定しています。②若い世代の人口を増やすための施策を展開し、持続可能な社会づくりで高齢者福祉の充実を図り、令和7年度の広野町の人口を5千人と想定しています。③「子供たちを安心して育てることのできるまち」、「双葉郡復興の拠点となる環境と共生した利便性の高いまち」、「社会の要請に応え活気と活力のあるまち」などの取り組みを実行します。④交付団体になること無く、向こう10年に渡り不交付団体の状況は継続されます。

空き家・空き地対策

調査費の活用方針は

町長／有効に活用する

北郷 帰還した住民の交流拠点として空き家や空き地の活用を想定し、広野、楡葉、双葉に、国は空き家や空き地を活用した地域の活性化を図る。調査費で、新たに計2700万円を財政支援する。そこで、この調査費の活用について町の考えは。

町長

本事業は、東日本震災及び原子力災害による避難指示等に伴って発生した空き家・空き地の状況を調査し、実態を把握した後、所有者の意向を伺った上で有効に活用することを目的としています。利用できる建物があり、状況により、修繕やリフォームを行い、高校生などの若者と高齢者の方々の交流拠点として整備することができるようになります。

保険税等の免除

今後の継続予定は

町長／引き続き要望していく

北郷

①保険税(料)及び医療費の一部負担金の免除、高速道路無料措置(NEXCO)及びプレミアム付商品券販売等の生活再建策は、来年度継続されるのか。②生活再建の支援が、今後、打ち切られた場合の代替案を考えていますか。

町長

①保険税、保険料の減免及び一部負担金の免除、高速道路無料措置の継続を引き続き国、関係機関に要望していきます。②旧緊急時避難準備区域に指定されていた市町村と合同で要望活動をやってきた経緯を踏まえ、情勢を見極めながら適切に対応していきます。

8人の議員が町政を問う

北郷幹夫

- 町の将来の見通しについて
●生活再建について
●空き家や空き地を活用した「にぎわいづくり」について

門馬 巧

- 天然ガス火力発電事業誘致について
●町道(含む生活林道)の側溝に蓋を設置せよ
●避難指示地域から本町に移住している人達の対処について

小磯利雄

- 平成30年度決算について
●広野町地域防災計画、その後について
●本町子供たちの学力レベルは
●充電スタンドを設置せよ

遠藤 浩

- 広野町公共施設等総合管理計画について
●魅力ある広野町の教育について

門馬まりえ

- 第2次広野町健康づくり計画の推進と保健師の活動について
●防災行政広報無線について

北郷伯弘

- 教育等の展望について

渡邊正俊

- 道の駅の進捗状況について

阿部憲一

- 小児甲状腺検査で「異状」の人数は
●福島第一原発の排気筒の解体の危険は
●避難住民が残した猫の捕獲・保護
●箱物行政を続けるつもりか

一般質問は、公の場である議会で、町長の考え方や町政の執行状況について説明を求めたり、所信を問いただすものです。

追跡レポート

あの質問 どうなった?

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか? どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

●平成30年12月定例会 ●一般質問

塩 史子 議員

地場産農産物食材の復活は

広野町は天候に恵まれ、あらゆる農作物がで、地元でとれた新鮮な食材での学校給食をと考えますが、教育長の考えは。

保護者の理解をいただきながら取り組む

次年度に向け、学校給食の食材を引き続き協議し、保護者の理解をいただきながら、地元産への切り替えに取り組んでいきます。

広野産野菜が給食に使われました。

令和元年9月から、広野小中学校の給食に広野産のジャガイモやタマネギなどの野菜が使われるようになりました。

また、お米も新米収穫後に今年度から使われる予定です。



広野産新鮮野菜